

市内職業高校の再編に当たっての要望について

市内職業高校の再編に当たって、北海道教育委員会教育長に対し、平成27年1月13日付けで、小樽市長、小樽市議会議長及び小樽市教育委員会委員長の連名で次のとおり要望しました。

市内職業高校の再編に当たっての要望

北海道教育委員会は、毎年、公立高等学校配置計画を策定されていますが、その中の後志学区高校配置計画において、「小樽市内の再編について、職業学科の配置の在り方を含めた早急な検討が必要」との見通しを立てられ、今後に向けて、「小樽市内の職業学科の在り方について、地域の意見を伺いながら、できるだけ早く検討していく」との見解を示されています。

このことを受け、小樽市教育委員会としては、小樽の伝統や文化、歴史、産業などに見合う、小樽にふさわしい公立高校の在り方について検討を進め、別添のとおり高校配置計画に係るアンケート調査を実施するとともに、経済団体、PTA団体、校長会等の関係団体との意見交換を行いました。

これらの経緯を踏まえ、小樽市教育委員会として、下記のとおり要望を取りまとめましたので、今後の市内職業高校の再編に当たって、特段の御配慮をお願いいたします。

記

市内職業高校の再編に当たっては、小樽商科大学、北海道職業能力開発大学校などの教育機関や企業との連携を図り、本市の観光やものづくりなどの産業構造等を踏まえ、次に掲げる教育内容を取り入れた小樽にふさわしい魅力ある高校の設置を要望します。

- (1) 多くの外国人も訪れる観光都市であることから、外国語（英語、韓国語、中国語、ロシア語など）や国際感覚、観光ビジネス、接客サービス等について学べる高校
- (2) 国際経済、情報関係など就職に結び付く商都・小樽にふさわしい高校
- (3) 小樽の伝統や文化を生かせるガラス工芸や機械・金属製品などの「ものづくり」について学べる高校
- (4) 寿司やスイーツなど小樽の特色を生かせる食について学べる高校
- (5) 大学進学に対応する高校

※ アンケート結果では、福祉科や看護科を望む声も多かったですが、福祉科は、高校よりも専門学校等で学ぶ方が資格の関係で利点が多く、看護科は、既に市内に三つの看護学校があることから、要望に盛り込みませんでした。